

歌王のおんがくたい

(上映時間 約15分)

作・香城由里

登場人物

まさる(歌の上手い子供)
歌王(うた王国の王様)
まさるのお母さん
えり(歌の上手い子供)
しろうた(歌の上手い子供)
ひとみ(歌の上手い子供)
家来
物知りおばさん
音楽隊
観客
ナレーター

あらすじ

うた王国に住むまさるはお母さんと二人暮らし。まさるは歌を歌うのが上手い男の子で、病気のお母さんを励ます為に歌を歌ってあげていました。お母さんはまさるの歌を聴いて、元気をもらっていました。うた王国を治める歌王もまた歌の上手い王様です。お抱えの音楽隊を率いて、歌手として歌っていました。だが、そろそろ現役を引退しようと考えていました。歌王には子供がいない為、後を継ぐ者がいません。そこで、歌王は国中にお触れを出し、歌手を募集してオーディションをすることになりました。集まったのは街の合唱団に入っている三人の子供たち。それぞれに歌が上手かったのですが、王様にはピンときませんでした。家来に街に出て、さらに歌の上手い子供を探すように命じます。家来はある家からきれいな歌声が聴こえてくるのに気づき、その家を訪ねます。その歌声の主は、まさるでした。家来はまさるを歌王の音楽隊の歌手としてスカウトしますが、まさるはお母さんを放っておけないと断ります。お金や名声を手に入れることよりも、お母さんの為に歌うことを大事にしたかったからです。そんなまさるに、お母さんの言った一言が、まさるの心を動かしたのです…。

作者より

歌を歌うことは身近でとても楽しいことです。カラオケや音楽番組などでも親しまれています。私自身も歌を歌うことが好きなので、歌にまつわる話を考えてみようと思いました。歌の上手い王様がいて、王様が率いる音楽隊の歌手の後継者を見つけるいう内容です。歌が上手いということに加え、誰かのために心をこめて歌われる歌には感動があります。まさるの歌にはそれがあつたから、歌王はまさるを音楽隊の歌手にしよつとしたのです。利益を求めず、無心に歌うことの大切さ、人を幸せにする歌の素晴らしさを子供たちに伝えられたらと思います。音楽隊の楽しい演奏を想像して、演じていただければ幸いです。

ナレーター

うた王国に住むまさるくんは、お母さんと二人暮らし。
お母さんは病気で寝ています。
まさるくんはそんなお母さんを励まそうと
歌が好きなお母さんに歌を歌ってあげます。

まさる

♪春が来た 春が来た どこに来たー
山に来た 里に来た 野にも来た

お母さん

ゲホゲホ…。ああ、春になったら桜が見たいわ。

まさる

僕もお母さんと一緒にお花見したいよ。
だから、早く元気になってね。

お母さん

ええ、そうね。まさるの歌を聴いたら
元気になれそうよ。

まさる

本当！ああ、歌ってよかった！

お母さん

また歌ってちょうだい。

まさる

うん。もちろん！

ファンファーレが鳴る

ナレーター

うた王国には歌を歌うのが好きな歌王という
王様がいて、宮殿に住んでいました。
歌王は音楽隊を作り、その歌手として歌っていましたが、
最近、何か悩んでいる様子です。その悩みとは…？

家来が歌王の部屋のドアをノックする。

家来

失礼します。歌王様。今日はどんなご用でしょうか？

歌王

わしもそろそろ、後のことを考えようと思ってるな。

家来

後というと、跡継ぎでございますね。

歌王

いや、違う。わしの音楽隊のことが心配なのじゃ。

わしはもう年で、いい声が出ない。
わしには子供がいないから、

歌の上手い子に、代わりに歌ってほしいんじゃ。

家来

それでは、街に行つて歌の上手い子供を探しましょうか？

歌王

そうだな。よし！

わが国に音楽隊の歌手を募集するお触れを出そう。
歌の上手い子供を集めてオーディションをするのじゃ。

家来

かしこまりました。

♪音楽(BGM)

お母さんIN

まさるIN

お母さん、床に寝ている

まさる、その傍にいる

咳込みながら起き上がる

微笑みながら話す

まさるの方を向いて

明るい笑顔で

まさる、お母さんOUT

♪ラップを吹く音

歌王IN、椅子に座る

ドアのノック音、開閉音

(効果音)

家来IN

歌王の前に立つ

腕組みをして困った様子

両手を叩いて

家来に告げた後、歌王OUT

家来、頷いてOUT